

氏名	八十島 崇	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	トレーニング科学				
学位	博士（体育科学）				
学歴	1997年東京学芸大学教育学部、2000年筑波大学大学院修士課程体育研究科、2004年筑波大学大学院博士課程体育科学研究科				
経歴	2006年九州共立大学スポーツ学部助手、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授				
所属学会（役職）	日本体力医学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本バイオメカニズム学会、日本バイオメカニクス学会、日本トレーニング科学会、日本ストレングス&コンディショニング協会（NSCAジャパン）				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	心と体の健康	共著	あり	健学社、80ページ	学校保健教育研究会	2020. 4	
2							
3							
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	中・高強度領域のクロール泳における泳速度調節時の競泳選手の身体感覚の検討	共著	あり		スポーツパフォーマンス研究、12巻、737-752	古賀大樹、 <u>八十島崇</u>	2020. 11
2							
3							
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2							
3							
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2							
3							
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	方向転換能力の評価指標としてのCODdeficitの有用性に関する研究		研究代表者		2020.4～2022.3	
2							
3							
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	スポーツ医学概論	○	5	この授業では各種スポーツに伴う外傷・障害及び内科的疾患などについてオムニバス形式で授業を行った。担当は、成長期及び中高年期のスポーツ医科学、アスレティックリハビリテーションの理論と実際、スポーツにおけるコンディショニングの実際であった。			
2							
3							
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			

1	トレーニング論	○	15	筋力、パワー及び全身持久力などを中心に体力構成要素を解説し、各体力を向上させるためのトレーニング方法と具体的実践例について概説をした。
2	運動プログラム論	○	15	トレーニング論及びトレーニング実習の内容を踏まえ、対象者に対してトレーニングプログラムを作成し指導するための具体的実践方法を習得させるよう授業を展開した。
3	運動学実験Ⅰ	○	15	動作解析の研究手法について概説し、データの収集方法及び考察の仕方について授業を行った。
4	運動学実験Ⅱ	○	15	運動生理学の講義内容を基盤に、筋力、持久力（全身持久力／筋持久力）及びパワーなどに関する測定を実施し、各データの収集、解析方法及び考察の仕方について授業を行った。
5	レクリエーションスポーツ	○	15	スポーツで行うレクリエーション活動中心に、その特徴や方法及び指導方について学べるように授業を行った。
6	ウィンタースポーツ	○	15	ウィンタースポーツとしてスキーマの技術的特性を理解し、段階的に指導できるようになるための授業運営を心がけ授業を行った。
7	学校ボランティア演習Ⅱ	○	15	この演習は、学校ボランティアⅠで経験した教育活動をさらに深め、学校現場での実際の活動を通して学びを深めていくことをねらいとしている。授業では、現場で実習を行う学生への実習にかかる指導や実習報告会の運営などを担当した。
8	道徳・総合的な学習の時間及び特別活動	○	8	この科目は教職課程の「道徳、総合的な学習等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する」に該当し、授業では主に授業運営の円滑化に努めた。

（３）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	養護実習		2020.9	教職課程履修者が4年次に行う養護実習の巡回指導を担当した。
2	ヒューマンケア体験実習		15	担当施設との日程・内容等の調整を行い、円滑な実習実施に努めた。また、学生にとって有意義な実習となるようオリエンテーションや振り返り学習の場面で助言などを行った。
3	トレーニング実習	○	15	トレーニング論の講義内容を基盤に、主にウエイトトレーニングの実施方法や指導ポイントを踏まえた実践的な授業を行った。

（４）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 3名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名

（５）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	済生会川口看護専門学校 非常勤講師	2020.6～2020.7	済生会川口専門学校の健康と運動を非常勤講師として8コマ担当した。
2			
3			

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県健康運動指導者研修会	埼玉県 県民健康福祉村 管理事務所	埼玉県の公的機関において、健康運動指導士や健康運動実践指導者などの資格を有する方や健康づくり担当者を対象にサーキットトレーニングや足趾トレーニングに関する講習を行った。	2020.11.30
2				
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市保健衛生審議会委員		2020.4～2021.3
2	越谷市	越谷市スポーツ審議会委員		2020.4～2021.3
3	埼玉県	2020オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会ボランティア部会		2020.4～2021.3
4	埼玉県	埼玉県県民健康福祉村指定管理者候補者選定委員会		2020.6～2020.9
5	草加市	草加市スポーツ推進審議会委員		2020.4～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	教職関連科目担当者会の教務委員会		2020.4～2021.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス		2020.4～2021.3
3				
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	特になし			